

カトウゴケ

Palisadula katoi (Broth.) Z. Iwats.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… NT

■ 県内分布

姫路市

■ 国内分布

本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

■ 保護上の留意点

■ 種の概要

一次茎ははい、二次茎は立ち上がって長さ3-6mm、葉を密につける。葉は長さ1-2.2mm、卵形から倒卵形で、深く凹み、葉先は急に狭くなって細く尖る。中肋は2叉して短いか不明瞭。葉身細胞は狭六角形、厚壁でくびれがある。翼部には数個の大型、薄壁の細胞があり、その上に小型で厚壁の細胞が集まる。蒴柄は長さ9-12mm、蒴は長卵形で直立し、外蒴齒は透明で平滑、上半部は規則的に孔が生じて垣根状となるのが特徴。胞子は直径20-35μm。岩上、樹上に生えるがまれである。